

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する年度評価シート

施設概要			
施設名	まんさくの丘		
指定管理者（選定方法）	社会福祉法人 山形市社会福祉事業団（選定方法：非公募）		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
利用料金制導入の有無	有		
施設所管課	福祉推進部障がい福祉課		
評価			
評価の区分	S	協定書、仕様書どおりに実施され、計画や目標を上回る実績（効果）があった場合	
	A	協定書、仕様書どおりに実施され、概ね計画や目標どおりの実績（効果）があった場合	
	B	協定書、仕様書どおりに実施されたが、計画や目標を下回る実績となるなど（効果が少ない場合を含む）、改善を要する必要がある場合	
	C	協定書、仕様書どおり実施されなかった場合	
	-	評価項目が該当しない	
評価区分	評価項目	評価ポイント	評価
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接遇向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いは適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A	
利用状況の状況	開館日数	開館（日数）は適切に行われたか	A
	開館時間	開館（時間）は適切に行われたか	A
	利用人数	利用人数は目標を達成したか	B
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	A
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	A
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
満足度調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃（日常）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃（定期）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検（日常）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検（定期）	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金	利用料金は目標を達成したか	B
	利用料金の収受	利用料金の収受は規定の料金を適正に収受するなど適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	A
総括評価			
<p>当該施設は「こまくさ学園」「恵光園」「蔵王通勤寮」の三施設が一つの建物の中に併設している総合施設である。それぞれの施設が連携を図りながら各事業の特性を生かし、きめ細やかな質の高い福祉サービスを提供している。</p> <p>利用者へのアンケートでは、こまくさ学園及び恵光園で利用者満足度が80%を超えるなど高い評価を得ており、蔵王通勤寮も前年度より評価を上げている。</p> <p>利用状況については、三施設共に目標人数を下回る結果となったが、利用者や家族の状況に応じた支援の充実や健康管理に努めるなど利用率向上に努め、前年度の利用率を上回ることができた。また、こまくさ学園において前年度末に卒園児が多かったことや、蔵王通勤寮において寮生の地域移行が図られたことで欠員につながっているが、各施設で関係機関や他事業との連携等により新規利用者の確保に努めている。</p> <p>事業実施については、内容を工夫し、利用者が参加しやすく配慮されている。また、まんさくの丘まつりを毎年開催し、地域住民等が多数参加し交流を図っているほか、地域行事への参加や地域福祉懇談会の開催等、地域社会との交流を続けている。</p> <p>引き続き利用者の障がい特性等に配慮し、関係機関とも連携しながら充実した療育及び支援等を実施するとともに、利用者が安心して活動できる環境整備を行い、更なる利用率向上の取組を継続されたい。また、利用者数及び利用料金収入を増やすため、各施設の特性に応じた一層の取組を期待したい。</p>			